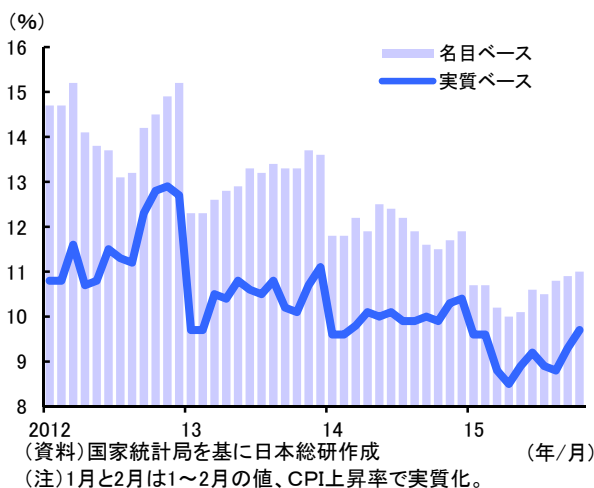


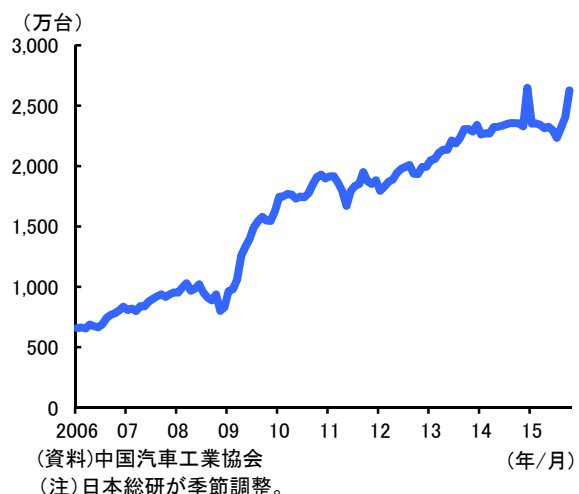
## 景気減速下、中国家計の将来不安が拡大

- (1) 中国の10月の名目小売売上高は自動車販売の増加を主因に前年同月比11.0%増と、伸び率が9月から0.1%ポイント上昇(図表1)。自動車販売は10月から開始された小型車減税などを背景に急増(図表2)。自動車類の売上増加は小売売上高を0.8%ポイント押し上げ。
- (2) もっとも、他の消費財の売上高は総じて鈍化傾向(図表3)。日用品や衣料品などの販売が弱含んでいるほか、好調を維持してきた家電や家具にも増勢鈍化の兆し。家電の売上高は前年同月比7.1%増、家具は同12.4%増と、伸び率はそれぞれ前の月から▲4.2%、▲6.7%ポイント低下。
- (3) 個人消費の増勢は雇用所得環境の悪化を受けて鈍化する見通し。景気が減速するなか、7~9月期の全国の公的就業サービスにおける求人数は前年同期比▲9.3%と、3四半期連続の前年割れとなり、労働需要は2015年入り後に大きく減少。
- (4) 現時点で所得の伸びは最低賃金の引き上げなどにより小幅の低下にとどまっているものの、将来の収入に不安を抱く家計が増加(図表4)。先行き、生活防衛のために消費を抑制する動きが広がる恐れ。

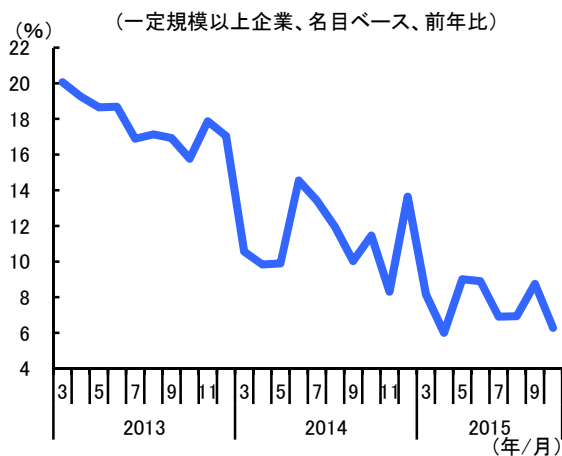
(図表1) 小売売上高(前年比)



(図表2) 自動車販売台数(季調値年率)



(図表3) 自動車以外の消費財の売上高



(図表4) 収入の見通しDI(季調値)

